

国道20号バイパス整備に関する要望書

昨年9月には諏訪バイパスのルート構造原案が示され、また都市計画原案、環境影響評価準備書についても説明がなされるなど国道20号バイパス事業も動きがありました。

全長10.3kmに及ぶ道路の8割がトンネル工事である本整備工事に対し、事業促進の声がある一方、周辺地域の地下水、温泉、自然環境、及び生活環境に対する影響を不安視する声が上がっています。これらの点について、科学的根拠に基づいた調査の実施と結果の開示を望むところです。

下諏訪町は「中山道と甲州街道が会う 大社といで湯の宿場まち」であり、先人たちが大切に守り残してくれた、信仰と歴史と文化、温泉のある暮らしや自然環境が、この先を生きる子供たちのために、50年100年先まで誇れるように維持されることを望みます。

つきましては、以下の項目を町へ要望します。

記

- 1 国道20号バイパス整備に関し、町民の様々な声が反映されるべく町関係部署を指導すること。
- 2 環境保全については、現状の温泉や地下水、自然環境を考慮し豊かな自然を子供たちに残せるよう、また、時代に沿うよう町民の声が反映されるべく十分な配慮をすること。

以上、決議します。

令和3年6月22日

下 諏 訪 町 議 会